

## 日本・沖縄からだけでなく 世界から軍事基地をなくそう

### 参議院選挙は 平和への試金石

残念ながら鳩山首相の最終結論は、沖縄に米軍事基地を残し、新たな滑走路を作る、でした。もう一つ残念なのは、私たちの力で実現させた政権交代を「罷免」と「離脱」で、危うくさせているということです。

もちろん、民主党か社民党のどちらかが、その主張を譲れば良いということではありません。政党ですから相互に意見があり、食い違いがあるのはやむを得ないと思いますが、「日本に米軍基地はいらない」「戦争反対」という一致点すらないままスタートし、ゴールしてしまった所にこそ問題の核心があります。当然、世界の軍事基地もいらないとも。

マスコミは、「県内か 県外か」だけを大きく取り上げ、日本、すなわち私たちにとって米軍基地が「必要か 不必要か」という議論が閣内で、とりわけ民主党と社民党のなかで行われたのかどうか が伝わってきませんでした。具体的に伝わってきたのは、なぜ必要なのか を抜きにした鳩山首相の「海兵隊は抑止力として必要」ということのみでした。

現に、沖縄に米軍基地が集中しているのは、否定的 ですが現実です。これは沖縄県民が一番よく知っていると思います。この現実を否定的にとらえ、日本から米国軍隊を撤退させるための 道筋を明らかにできる 絶好のチャンス でした。それを、逃してしまったに等しいのです。

朝日新聞の「天声人語」に こんなことが書かれていました。

日本通のジョン・ダワー米MIT教授が職を退く。占領期を描いた著「敗北を抱きしめて」について「戦争直後、多くの日本人が様々なレベルで粘り強さと明るさを発揮し、軍事に頼らない平和をつくろうとした姿を描きたかった」と。

逃げそうな チャンス を取りもどしましょう。ジョン・ダワー氏の言う、粘り強さと 明るさ を発揮し、軍事に頼らない平和をつくるために想定される参議院選挙では、戦争に反対し憲法9条を守ろう、と訴える人を選びましょう。私たちにとって参議院選挙は、平和への試金石です。